

2024年3月15日 公募説明会 質疑応答記録 ★追加回答

Q 申請をJVで行うことは可能か。複数の団体でコンソーシアムを組んで申請することは可能か。

A 当協会が行う事業としては、コンソーシアムでの申請は今回、想定しておりませんので、単独の団体での申請をお願いします。また、今回のチャットでいただいた質問と回答につきましては、書面、文字にいたしまして、皆さんの方にお戻しします。

Q お示しいただいた質疑応答の送付をお願いします。

A はい、説明会資料、今回チャットでいただいた質疑応答も文字にしまして、送付をいたします。

★個別に送付ではなく、HPに公表致します。

Q お弁当など、子供への軽食を、販売ではなく地域の大人や職員で、一緒に作って一緒に食べるというスタイルはいかがでしょうか。

A はい、こういったスタイルでも、対象にしたいと思っております。

Q 実施時期は4月上旬が条件か

A こちらは条件というわけではなく、採択した後、皆さん（への通知が）早くても4月上旬にまづなります、なってしまいます。開始時期は、皆さんの、選定した後、事業計画や資金計画といったものを見直していただいて、それを提示していただき、確認を、あと、きちんと提出書類とかですね、通帳だったり、そういったものを揃えていただいてから、資金提供契約というものを結ぶこととなります。それを経て事業開始となりますので、4月上旬が条件ということではなく、最短でも、その時期になります。

Q 毎年発生する経費を次年度分ある程度計上するのは可能か

A こちらは、助成期間というものが決まっております、資金提供の契約を結んで、休眠事業の開始と日時を指定しましてから、2025年2月末までが、助成対象期間になります。次年度の予算というものを計上することはできません。ご了承ください。

Q 資金計画の書き方について参考となる事例を拝見することは可能か

A 様式のところに事例が掲載してあったかと思いますが、JANPIAの方にも確認いたします。ある程度積み上げていただいて、そこで全てが決まるということではなく、今度は実行団体として採択されてから、その予算の中で、相談しながら、細かく計上していただくというプロセスにはなっておりますが、参考事例になるものとして、こちらでも検討してみます。

★JANPIAに確認致しましたが提示されています事例以外はございません。

Q スロープは可能か

A 即答はできません。今回の事業の事業対象者にどう直接アプローチするものとして、この改修工事が有効なのかどうか、これに関しては実際にどの場所にどういった工事を施すのか、対象となる、今回事業対象としている方々にどんな効果があるのかということ踏まえた上での判断になりますので、こちらでの明確な回答は控えさせていただきます。今の質問につきましてはそういったことを鑑みて事業計画にまずは一旦記載いただくのがいいかと思えます。